

# YIA 会員だより 2025年12月号

発行：吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)  
第252号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



## 【12月以降の活動予定他】

- ◎外国人お遍路ガイド 場所：文化研修センター  
第36回 12月1日（月）10:00～11:30  
第37回 12月21日（土）13:00～14:30  
◎第8回理事会 場所：鴨島公民館  
日時：12月27日（土）午前中

- ◎もちつき大会 場所：西麻植青年会館

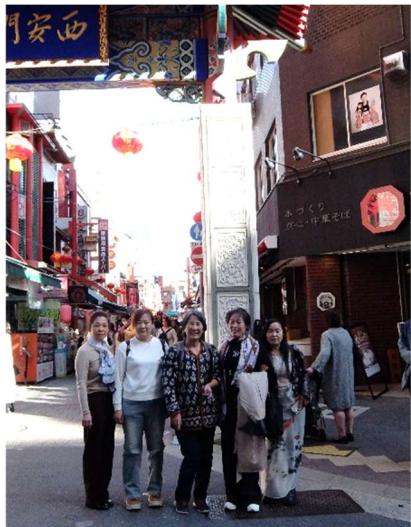
- 日時：2026年1月18日（日）8:30～12:00  
◎第9回理事会 場所：文化研修センター  
日時：2026年1月24日（土）15:00～  
◎YIA新年会 場所：検討中  
日時：2026年1月24日（土）18:00～

## ◆国際交流バスツアー(神戸)を楽しむ 井口 和代

11月23日(日)三連休のなか日、私たちは総勢44人で神戸へ行きました。内訳は外国人34人、日本人10名です。

朝5時に起床、そして7時に家を出てバスに乗りました。「おはようございます！おはようございます！」集まった皆さんの元気な声。そして笑顔いっぱいの顔。私も釣られて笑顔になりました。そして窓から眺める空はきれいな青空。秋晴れです。

10時過ぎに最初の目的地「森林植物園」に到着。黄色に紅葉した木々が待っていてくれました。さっそく皆さんは写真を撮り始めます。色々な角度から、色々なポーズで。そんな姿を眺めながら私はとてもほんわかした気持ちになりました。みんなが日本の美しい紅葉を心から楽しんでいる、そのことがとても嬉しくて。私の心はぬくぬくでした。ほんとに。そこからちょっと



移動して次は神戸ハーバーランド。そして南京町。中国人のシンさんが南京町に行くというので道案内。帰りにはたくさんのお土産、中国の食材を手にしていました。故郷の味。満足だったのでは？と思い聞いてみました。そしたら、「お昼ご飯にラーメンを食べました。でもお店の人はベトナム人で味もベトナムと中国のミックスの味でしたっ！」と、大笑いしていました。私も一緒に笑いました。愉快な思い出。よかったね、シンさん。

## ◆タイ・バンコクの日本語学校視察 細谷 裕重

コロナ5  
類移行後、ア  
ジア各国の  
日本語学校  
を見学して  
回っていま  
す。



今回は10月15日～17日の2泊3日でタイのバンコクにある日本語学校を訪問しました。この学校は技能実習の送出機関「バンコク・ウィニンググループ・マンパワー」が運営しています。指導教師には現地在住の日本人もいて、授業内容もしっかりしていました。ただ最近はタイから日本への技能実習生は減少傾向にあります。一方、出国先で増えているのが中東。とくにイスラエルは、ハマスが停戦した場合のガザ地区復興を同国が担当するとのことで、大量の求人情報が来ているそうです。イスラエルへの出国予定者の研修風景も見ました。真剣な表情で大工作業をしていました。しかし現地語の研修はありません。語学能力は募集条件に無いからです。現地語が喋れない外国人を受入れて、ひたすら仕事をさせる！？ そんな労働環境でいいのかと少し複雑な気分になりました。

## ◆「道草マルシェ」でムアサップを披露 萩森 健治



映画「道草キッチン」をPRするためのイベント「道草マルシェ」が11月16日に鴨島駅前周辺で開催されました。会場にはベトナム料理の屋台、映画のPRブース、子どもの遊びコーナーなどが設けられ、ランタンが点灯された広場では、参加した多くの市民と子どもたちやベトナムの人たちが料理や交流を楽しみました。

このイベントは、映画「道草キッチン」PR実行委員会主催で、YIA、かもじま五九郎まちづくり(株)、鴨島商店街連合協同組合、鴨島駅前通り商店街の協力で開催。

YIAはベトナムの伝統的な竹遊び「ムアサップ」と「揚春巻き」の屋台を担当しました。ムアサップは4拍子の軽快なリズムに合わせて竹の間を軽やかに踊る、子どもも含めて皆で参加できる楽しいパフォーマンスです。徳島県ベトナム人会リーダーのヴィーさん(阿波市内の会社で働く四国大学留学生OB)が20人以上のベトナム人仲間を集めて指揮協力してくれました。夕暮れのころから若いベトナム人男女が続々と集まり始め、地元の子どもたちや大人も一緒に何回もムアサップに挑戦。また、ベトナムの歌や踊りも一緒になって楽しみました。揚春巻きの屋台は三木ハンさん達3人が担当し、ベトナム北部と南部の春巻きセット500円で販売。美味しくて安くて19時ころには完売。

映画の白羽監督、原井市長と市役所職員、ベトナム、インドネシア、中国、タイなどの在住外国人、TOPIA、



四国大学関係、市民や子どもなど数100人が参加。皆さん、バインミー、フォー、揚春巻き等のベトナム料理やムアサップを楽しみながら、映画のPRと国際交流に大いに貢献できたと思います。

## ◆お接待に参加して

### 英語遍路ガイドグループ 黄田 一男

11月3日、11番札所藤井寺で、お遍路ガイドグループのメンバーと8時から17時までお接待を行いました。鳴門金時、愛宕柿、みかん、すだち、銀杏、ハイチュー、キャラメル、水等を用意。当日は、午前中少し風が強くて寒かったですが、連休の最後ということで多くの日本人(150~200人)と約25名の外国人が参拝。USA, Australia, Singapore, Italy, France, Holland, Denmark, UK等から。

仏教と神道が一部で折衷した、88ヶ所巡礼、アニミズム的信仰の旅を求めて、今、世界中からお遍路にやって来る外国人の方が増えているようです。そして幸運にお接待の機会を頂きました。

実は私は一度も札所を巡ったことはありませんが、その対象は寺院だけではないと思います。旅の中で感じた光、音、風、気温、そして出会い、高揚感、時に爽やかに、時にうるおった色合いの中で、巡礼の光景は“風景画のように”残っていくのでしょうか。その中の一枚として今日のお接待が心に残ってくれると嬉しいです。

伝統食の「ふかし芋」が意外にも一番人気であり、西洋の方々がお芋を手にとったの雑談は正に異文化交流だと感じました。1分でも巡礼の方の心が和んでくれたら、接待する側も嬉しいです。外国語を学ぶモチベーションも上がり、とても良い体験をさせていただきました。個人レベルでできるサポートがそれぞれあります。どの立場でも「自分が外国で暮らしていたら、きっと不安な気持ちになるだろうな」とわが身に置き換えて接することが大事なのではないかと感じました。多文化共生には、生活様式や考え方の違いなどさまざまな課題もありますが、お互いに良い関係を築いて、末長く交流できれば素晴らしいな、としみじみ考えさせられる講座でした。

